別記様式(第4条関係)

会　　議　　録

会議の名称	令和8年度第4回 朝霞市公共施設等総合管理計画庁内検討委員会検討会議 (プールの在り方１回目)	
開催日時	令和8年9月 29 日(火)　　午前10時から午前 11 時まで	
開催場所	朝霞市役所　3 階　302 会議室	
出席者	(委員):政策企画課(櫻井部次長) ・財政課(荒井課長補佐、池田主任) ・財産管理課(中谷部次長、山﨑係長) ・健康づくり課(齊藤課長、麦田課長補佐) ・教育総務課(関口部次長、佐賀課長補佐) ・生涯学習・スポーツ課(渡邉部次長) (事務局):村沢室長、牧原主任	
会議内容	市の保有するプール施設の課題について	
会議資料	次第 資料１　市の保有するプール施設の概要	
会議録の作成方針	□電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	■電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	□要点記録	
	□電磁的記録での保管(保存年限　　年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	■会議録の確認後消去 □会議録の確認後　か月
	会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁	
その他の必要事項		

議題(1)市の保有するプール施設の課題について
　事務局から各プール施設の現状と課題について説明。

【主な意見交換内容】
〇わくわくどーむの設備老朽化について
・空調修繕に 1 億 700 万円の費用を見込んでいる。この修繕が完了しないと温度管理ができず、営業が難しくなる。そのような設備老朽化が進行している中で、次の指定管理者が応札してくるか不明である。
・現状のまま公募するのは難しく、設備修繕を完了させてから募集するのか、方針決定が必要である。
・仕様書に学校プールの教室利用を盛り込むことは可能だが指定管理者の切り替えタイミングでしか行えず、契約期間の途中から事業計画に組み込むことは難しい。

〇学校プールの現状と今後について
・教育委員会は、学校でのプール授業を廃止しない方針であり、小学校から中学校までの 9 年間を通した継続的な水泳指導をする方針である。
・近隣の志木市などが導入している民間スイミングスクールを活用しているが、シミュレーションの結果、費用が莫大になることや、教員が直接指導しないため評価が難しいといった課題があり、単純な導入は困難であると考える。
・令和 9 年度までに第二中学校にプールを新設するかどうかを含めた方針を固める必要があるため、それまでに学校プールとしての在り方を決定したい。
・全 12 校のプールを 1 校あたり 1.5 億円で改修すると約 18 億円、将来的な費用増を含めると総額 25 億円になると試算されている。これに対し、全天候型の新施設を 1 つ建設するという考えもある。

〇溝沼子どもプールを含むスポーツ施設について
・生涯学習・スポーツ課が所管しているスポーツ施設は建物系公共施設マネジメント実施計画から外れているものが多いなかで、スポーツ施設としての修繕計画や優先順位がない。そのため、壊れたところから直すこと自体が課題では。

〇財政的課題について
・金利が上昇していることを踏まえると、安易に起債を検討するのは難しい。
・溝沼子どもプールを例に、年間費用約 3,500 万円に対し収入が約 370 万円 90%近い赤字は課題であり、受益者負担の観点から利用料金は見直すべきだと考える。

会議の今後について
・「既存のまま維持できるか」を費用とスケジュールの観点から整理し、それが不可能であれば、複数のケースをパターン分けして検討していきたい。
・本日共有された資料に対し、各部署における記載されていない課題を追加で抽出し、事務局にフィードバックするよう依頼した。